当院の検査機器
CT・MRI・DXA・ﾏﾝﾓｸﾞﾗﾌｨｰ
をご利用下さい

放射線科では開業医の先生方と連携して、地域医療に貢献します。

患者さま

⑦結果説明

①受診

⑥検査結果持参

④検査受診

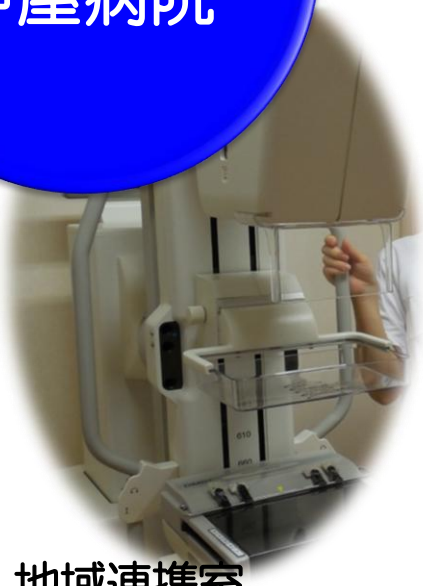
⑤検査結果お渡し

開業医さま

市立芦屋病院

②検査予約

③検査時間・注意事項の確認



＜連絡先＞
市立芦屋病院　地域連携室
TEL　0797-31-2156（代表）
FAX　0797-22-3319（直通）

市立芦屋病院

3D マンモグラフィ検査のご案内

市立芦屋病院では、マンモグラフィ検査のご紹介を受け付けております。

- 放射線科医師による読影後、結果を紹介元の施設へ送らせていただきます。

- 撮影は、月曜日から金曜日の午前中に実施しております。
- 女性技師が撮影を担当しております。

トモシンセシス検査

通常のマンモグラフィでは、乳房全体を1枚の画像で撮影していましたが、トモシンセシスは CT のように1mm程度のスライス画像で確認ができるため、更に見やすくなります。　（1 方向 約 5～10 秒）

施設認定証発行番号 第 10413 号

DM Digital Mammography and Soft Copy

マンモグラフィ検診 施設・画像認定証

市立芦屋病院

貴施設が申請された乳房撮影装置は日本乳がん検診精度管理中央機構施設・画像評価委員会での審査の結果、検診精度管理の線量・画像基準を満たすものと認定致します

認定期間
自　2024年 8月 1日
至　2027年 7月31日

特定非営利活動法人
日本乳がん検診精度管理中央機構
理事長 横江 隆夫

＜3D マンモグラフィ撮影装置：
：AMULET Innvality（FUJI Film 社製）＞

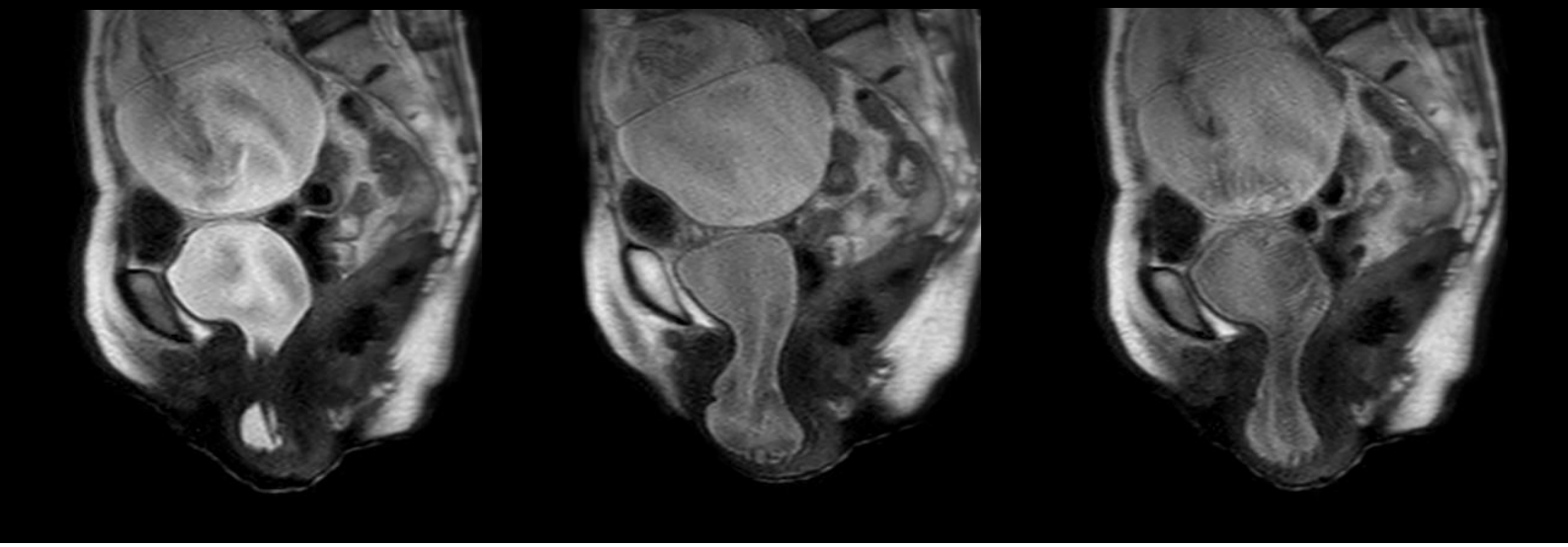
＜マンモグラフィ検診施設画像認定証書＞

検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師 ３名在籍
検診マンモグラフィ読影認定医師 ３名在籍

ご不明な点がありましたら、市立芦屋病院（0797-31-2156）までお問い合わせください。

骨盤 cine MRI 撮像の案内

骨盤 cine



骨盤 cine MRI（動的 MRI）とは

骨盤臓器脱（POP）の診断のために、安静時から腹圧をかけた状態までを動的に撮影する MRI です。骨盤内の下垂の状態（膀胱、子宮、直腸）を一元的に評価することができます。また、骨盤臓器脱の原因となっている軟部組織（筋肉や靭帯）の評価にも有用といわれています。

撮像方法

- 仰臥位で膝を立て、技師の声掛けに合わせて息んでもらいます。（オムツ着用）
- 正中(子宮、膀胱の中心)の矢状断 1 slice を 40 枚/40s で撮影します。
- 平常→腹圧負荷（息む）→平常を撮影中に行なってもらい動的評価を行います。
- 通常の骨盤 MRI に cine MRI（40ｓ）を追加撮影します。

1 回の MRI 検査で通常の骨盤 MRI 検査に加え
骨盤 cine 画像を得られます。
→チェーン CG の置き換えで骨盤臓器脱の診断の一助となります。

この検査をご希望の場合は検査目的に
“POP cine 希望”と記載をお願いします。

お問合せ
ご予約は
こちら→

市立芦屋病院
【電話】0797-31-2156
【FAX】0797-22-3319